

家族との 「コミュニケーション」

最も身近なコミュニティは、やっぱり家族です。家族の雰囲気は子どもの自己肯定感※を育みます。でも、思うようにいかないことはありませんか。

家族とのより良いコミュニケーションについて考えてみました。

言葉だけではない
コミュニケーションが
あります。



- 様子を感じ取ること

家族だから
思いを伝え合いたい
ものです。



- 伝えたいことを伝え合える雰囲気づくり
→ 子どもの緊張感がとれます。
- 理解してもらえらるための伝える努力

素直になることが
必要なときも
あります。



- 時にはプライドを捨てる勇氣
(相手は家族なのだから…)

※自己肯定感
子ども自身が自分は大切な存在であると思うこと

作成委員から
ママへのメッセージ

- パパの一人の時間を考えてあげてね
- 感情的にならないようにしてね

作成委員から
パパへのメッセージ

- リアクションをしてね
(話の要点がはっきりしなくても、パパには聞いてほしいの♡)

その他

職場におけるコミュニケーション

職場の中で、子どもを話題とした会話が、意外に多いと感じている方もいらっしゃるでしょう。職場での子どもの話題をきっかけとしたコミュニケーションから得られるものなどについて考えてみました。

- 先輩や同僚から子どもの遊び場情報など、様々な情報がもらえることも
- 子育ての悩み解消につながることも
- 子どもの話題をきっかけにして、職場の人間関係が良好になることも

作成委員からの メッセージ



大切なのは、相手の立場や気持ちを考えながら、「会話」することです。

様々な場面で、多くの方々と積極的にコミュニケーションを図り、気持ちを分かち合うことが、親力向上の第一歩となり、子どもの成長にもつながっていきます。